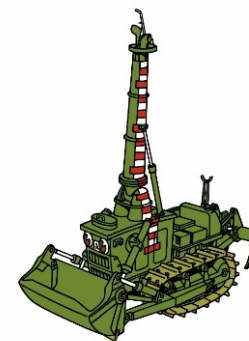


2026年3月期決算説明資料



青木あすなろ建設

つながる力を、創り出すかに。
TakaMatsu Group



スイブルくん ©こもりまこと

目次

□ 2026年3月期決算概要 ③～⑪

□ 2027年3月期年度経営計画概要 ⑫～⑮

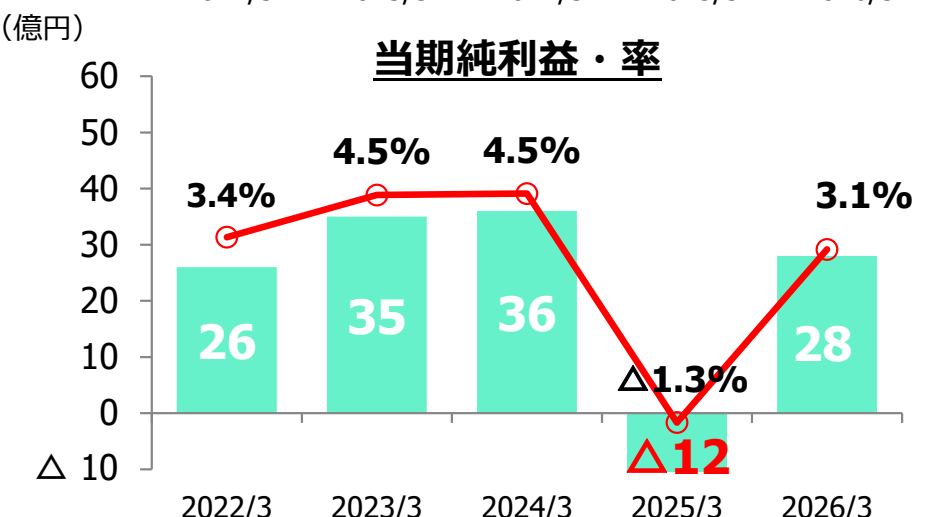
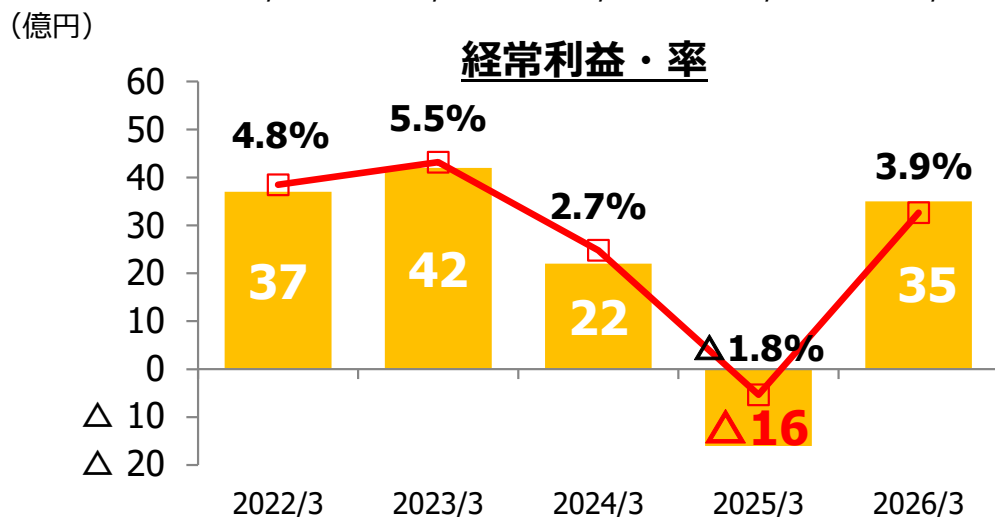
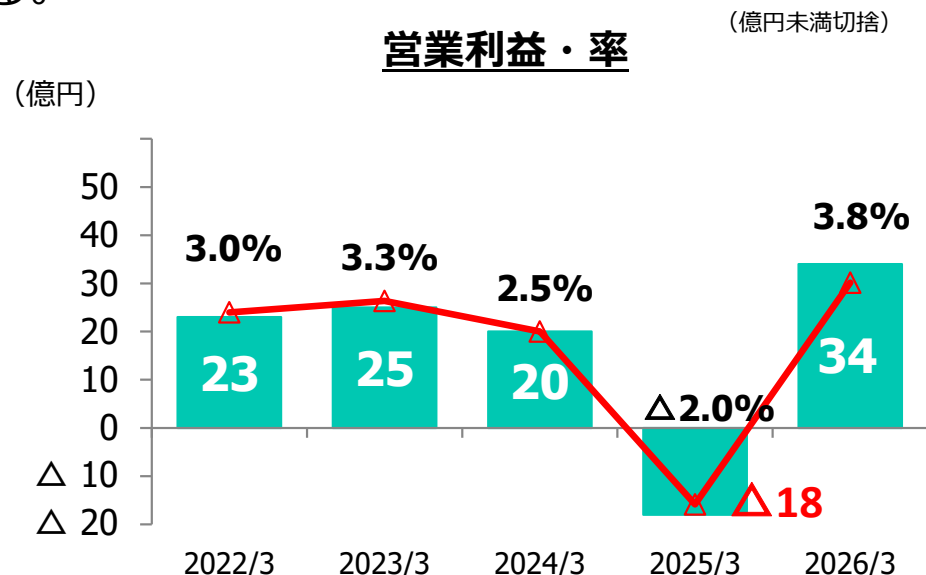
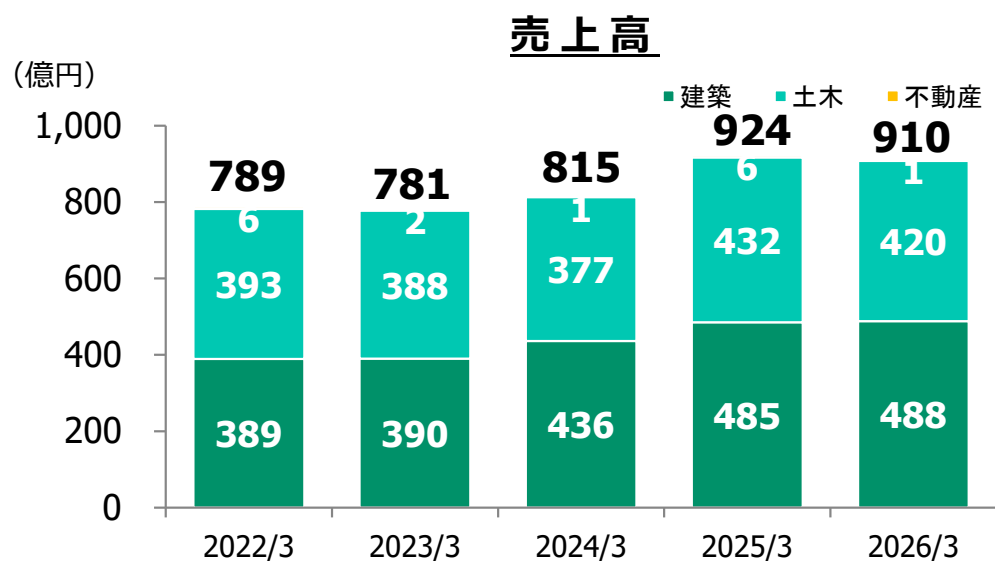
スイブルくん ©こもりまこと

2026年3月期決算概要



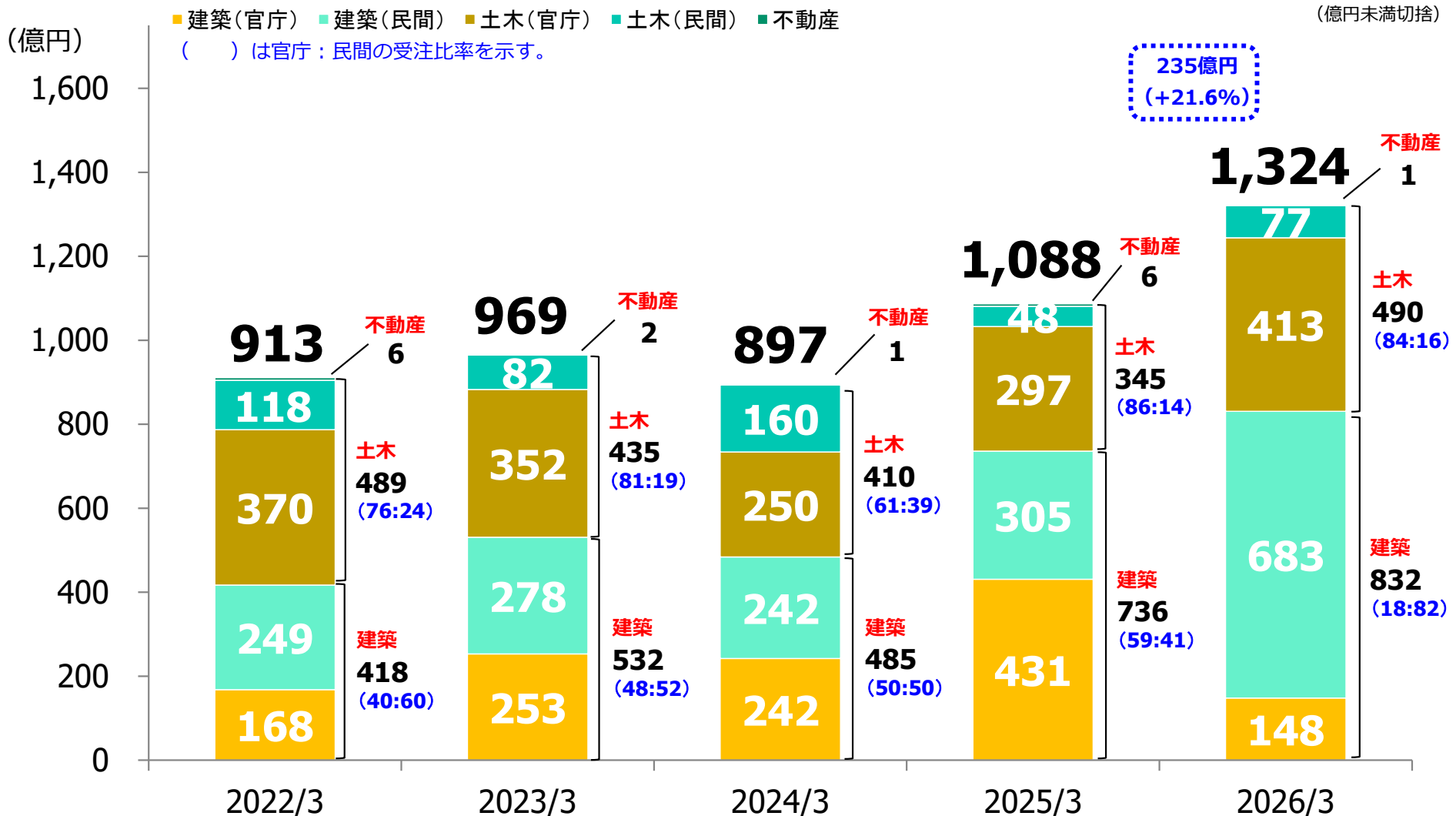
業績サマリー

- 利益面では、前期に不採算案件の影響を受けた建築事業が大きく立て直され、**V字回復を達成した**。この結果、営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも**大幅に増加**し、収益力が大きく改善した。売上高は前期比で**減少**したものの、減少幅は△1.6%程度にとどまり、概ね前期並みの水準を確保している。



受注高

- 全体では、建築・土木ともに受注が好調に推移し、前期比235億円 (21.6%) の増加となり、過去最高を更新した。内訳として、建築は官庁が減少したものの、民間は複数の大型案件の受注により増加し、全体では前期比95億円 (13.0%) の増加となった。土木は主に官庁工事の増加により、前期比145億円 (42.0%) の増加となった。



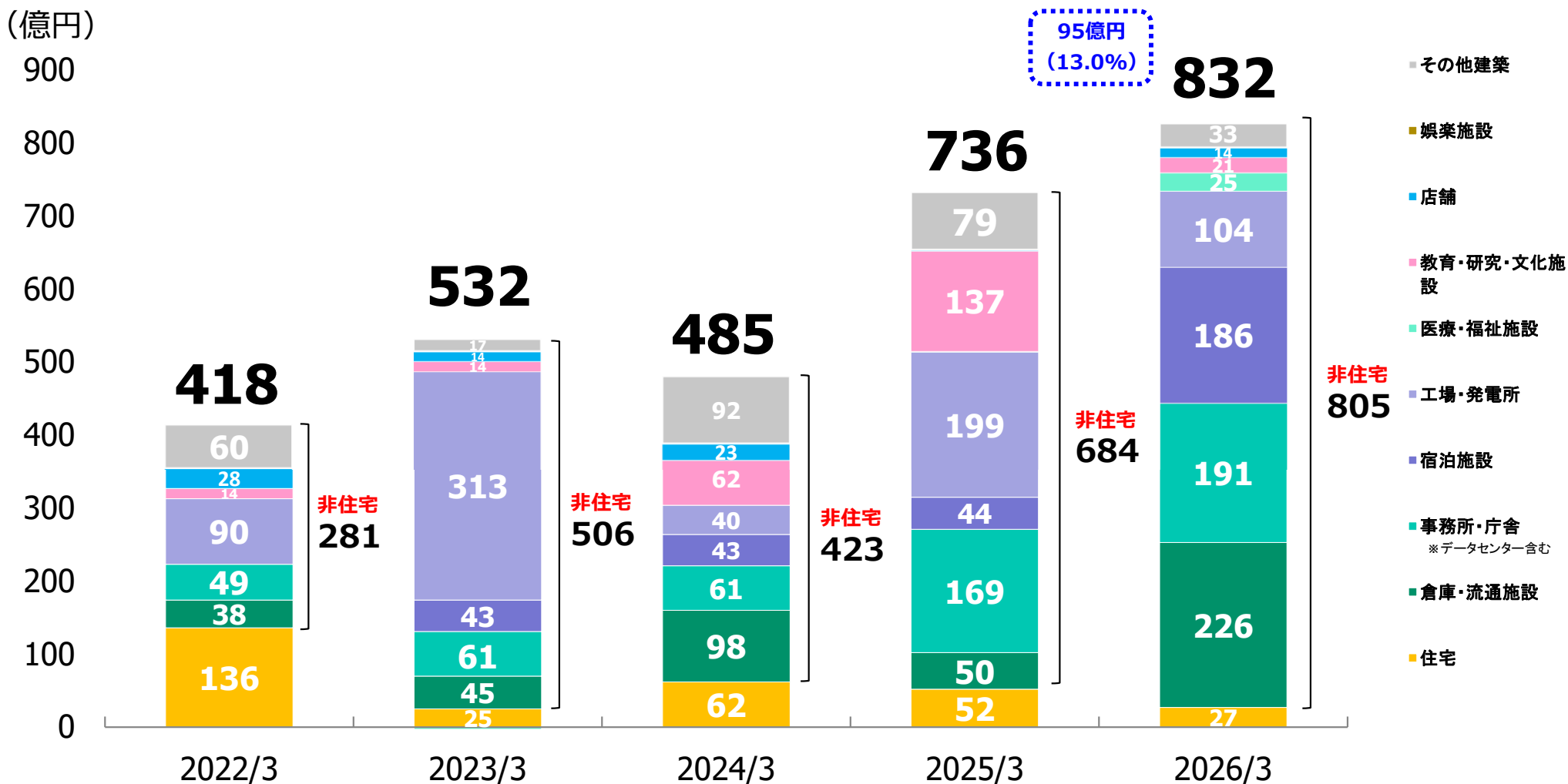
建築受注高

- 非住宅分野はホテル、工場、データセンターなどの大型工事の受注により、全体で大幅に増加。住宅分野は減少したが、建築全体では前期比95億円（13.0%）の増加となった。

10億円未満の分野は数値の記載を省略。

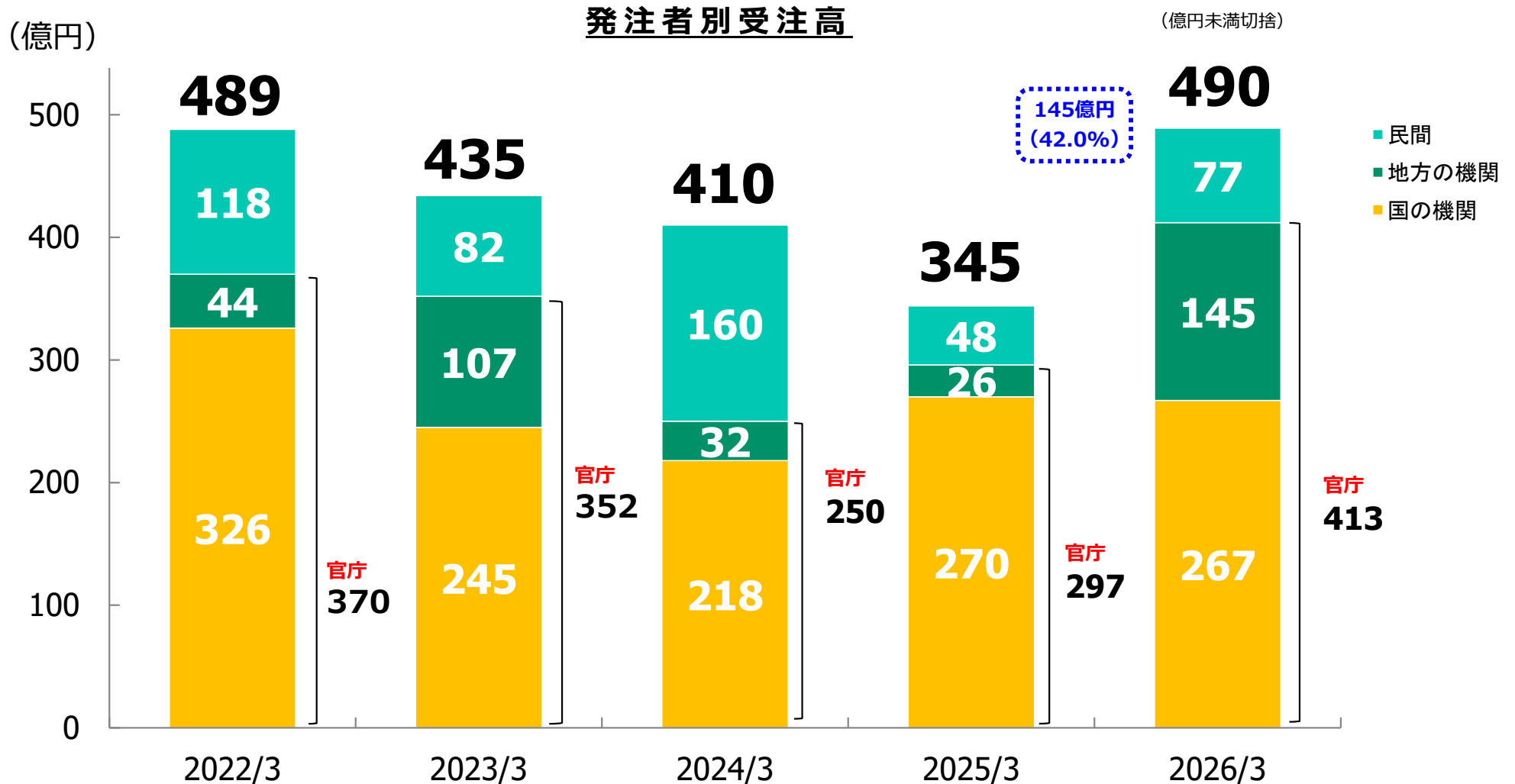
用途別受注高

(億円未満切捨)



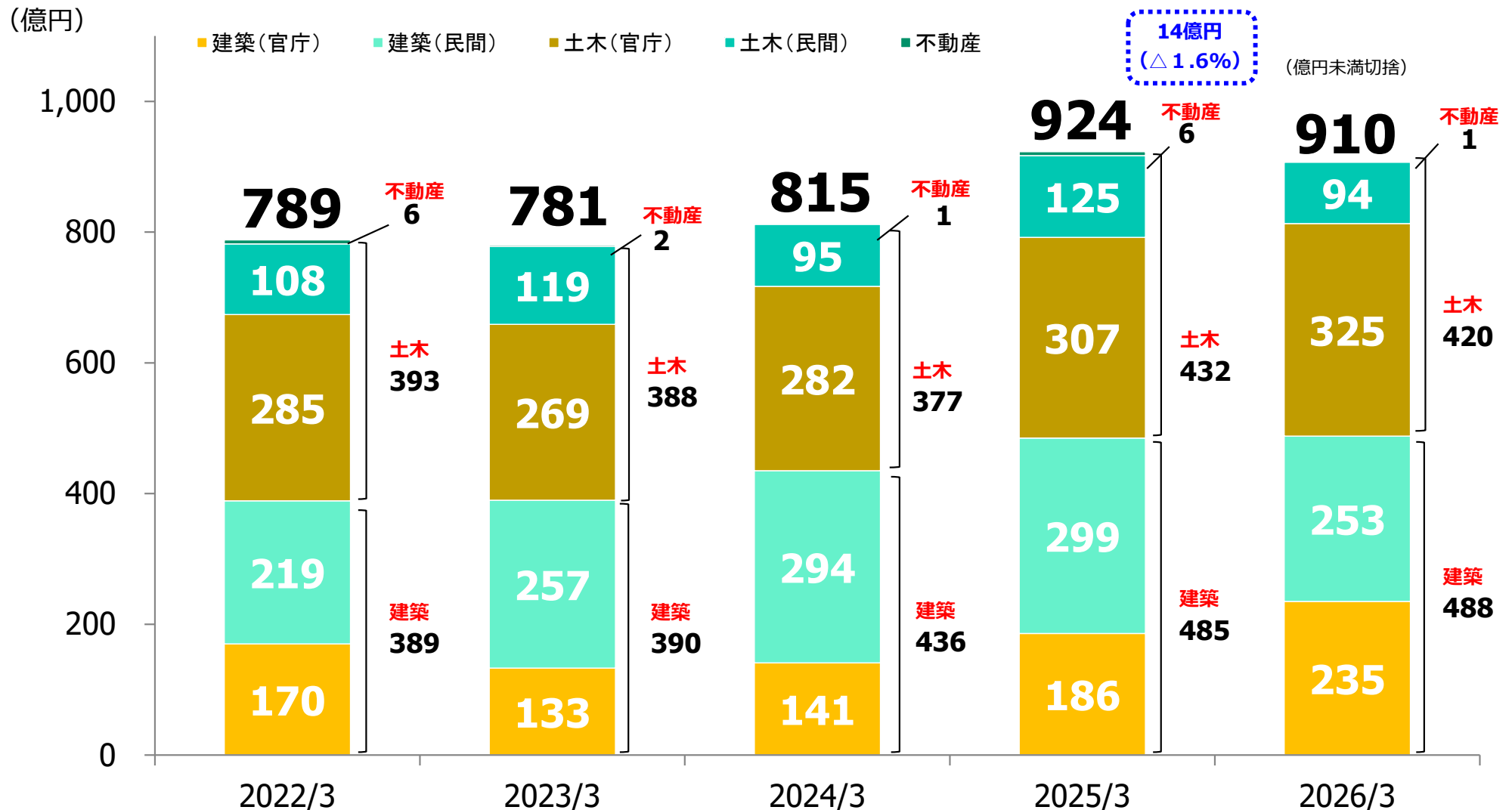
土木受注高

- 土木全体では、官庁・民間ともに堅調に推移し、前期比**145億円 (42.0%) の増加**となった。内訳として、官庁は中央官庁が**減少**したものの、地方官庁は**大幅に増加**し、民間も**増加**した。



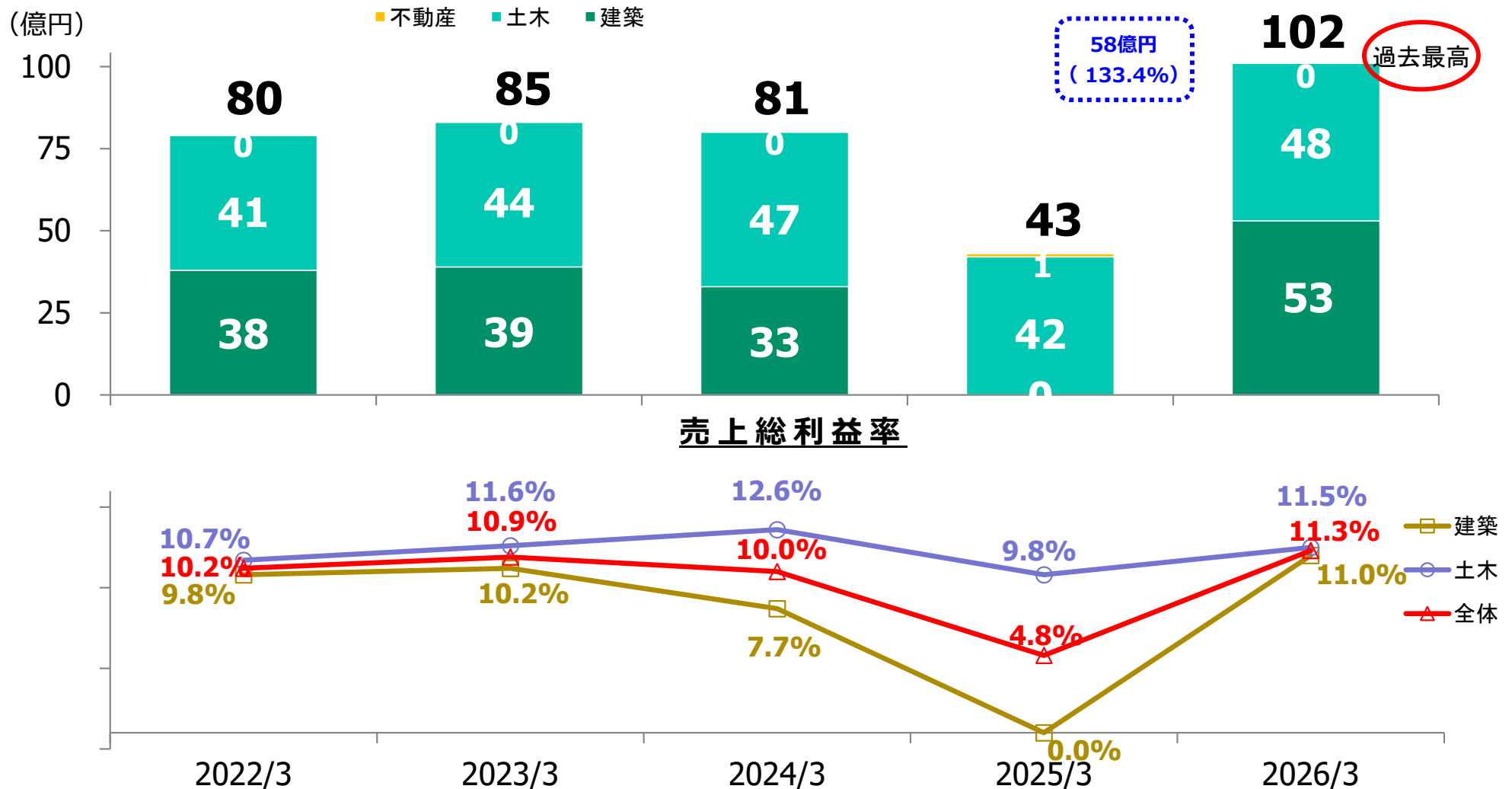
売上高

- 建築は手持工事の順調な進捗により前期比**増収**となった一方、土木は**減収**となったが、全体では前期比**14億円減 (△1.6%)**と減少幅は限定的であり、概ね前期並みの水準を維持した。



売上総利益

- 全体では前期比**58億円増(133.4%)**と大幅な増益となり、**過去最高**を更新した。さらに、売上総利益率も**6.5ポイント上昇し、11.3%**となり、**こちらも過去最高**となった。この要因は、建築部門において不採算案件の影響を受けた前期から**V字回復を果たし大幅な増益**となったこと、土木部門において設計変更等により**利益率が向上したことで増益**となったことである。



貸借対照表

	2025/3	2026/3	増減額
流動資産	(703)	(815)	(112)
現金預金	22	35	13
受取手形・電子記録債権	-	0	0
完成工事未収入金	646	718	72
関係会社預け金	-	29	29
未収入金	25	24	△1
その他	9	6	△2
貸倒引当金	△0	△0	-
固定資産	(84)	(84)	(0)
有形固定資産	(24)	(24)	(△0)
建物・構築物	2	2	0
機械・運搬具	1	0	△0
工具器具・備品	1	1	△0
土地	18	18	-
その他	0	1	0
無形固定資産	(1)	(2)	(0)
投資その他の資産	(58)	(58)	(△0)
投資有価証券	23	20	△2
繰延税金資産	25	22	△3
その他	10	14	3
貸倒引当金	△1	-	1
資産合計	787	900	112

	2025/3	2026/3	増減額
流動負債	(233)	(315)	(82)
工事未払金	121	131	10
関係会社短期借入金	8	-	△8
未払法人税等	2	7	4
未成工事受入金	64	115	51
預り金	17	28	11
賞与引当金	10	12	2
その他	8	19	11
固定負債	(46)	(47)	(1)
退職給付引当金	45	46	0
その他	0	1	0
負債合計	279	363	84
株主資本	(506)	(534)	(28)
資本金	50	50	-
資本剰余金	147	147	-
利益剰余金	309	337	28
評価・換算差額等	1	1	0
有価証券評価差額金	1	1	0
純資産合計	508	536	28
負債・純資産合計	787	900	112

(億円未満切捨)
(単位：億円)

(自己資本比率)

(64.5%)

(59.6%)

(△4.9%)

損益計算書

	2025/3	2026/3	増減額	増減率	(百万円未満切捨) (単位：百万円)
売上高	92,459	91,024	△1,435	△1.6%	
完成工事高	91,843	90,914			
不動産事業売上高	616	109			
売上総利益	4,392	10,251	5,859	+133.4%	
完成工事総利益	4,231	10,234			
不動産事業総利益	161	17			
販売費及び一般管理費	6,224	6,821	597	+9.6%	
営業利益または営業損失	△1,832	3,429	5,262	-	
営業外収益	236	165	△71	△30.0%	
受取利息・配当金	227	158			
その他	9	7			
営業外費用	70	48	△22	△31.7%	
支払利息	70	47			
その他	0	0			
経常利益または経常損失	△1,665	3,547	5,213	-	
特別利益	0	263	263	-	
投資有価証券売却益	0	258			
その他	0	5			
特別損失	10	56	45	+440.1%	
固定資産除却損	8	3			
訴訟関連損失	1	52			
その他	0	-			
税引前当期純利益または 税引前当期純損失	△1,676	3,755	5,431	-	
法人税、住民税及び事業税	283	580			
法人税等調整額	△749	357			
当期純利益または当期純損失	△1,210	2,817	4,028	-	

2027年3月期年度経営計画概要

基本方針

基本テーマ キーワード

「未来を切り拓くベンチャーへ」

1. 「ニーズの先取り」「社会課題の解決」「新しい試み」の3つの力を軸に、成長市場で存在感を発揮
2. 独自技術と挑戦の積み重ねにより、“選ばれ続ける企業”への進化を目指す
3. 全社員が同じ方向を向き、変化を恐れず挑戦することで未来を切り拓く

重点施策（事業成長への取組み）

1.顧客・市場ニーズを先取り

（新しい建設分野を切り拓く）

- ・市場や顧客ニーズを最優先に考えるサービス提供
- ・再エネ、データセンター、冷凍冷蔵、ホテル、リモデル

2.社会課題への挑戦

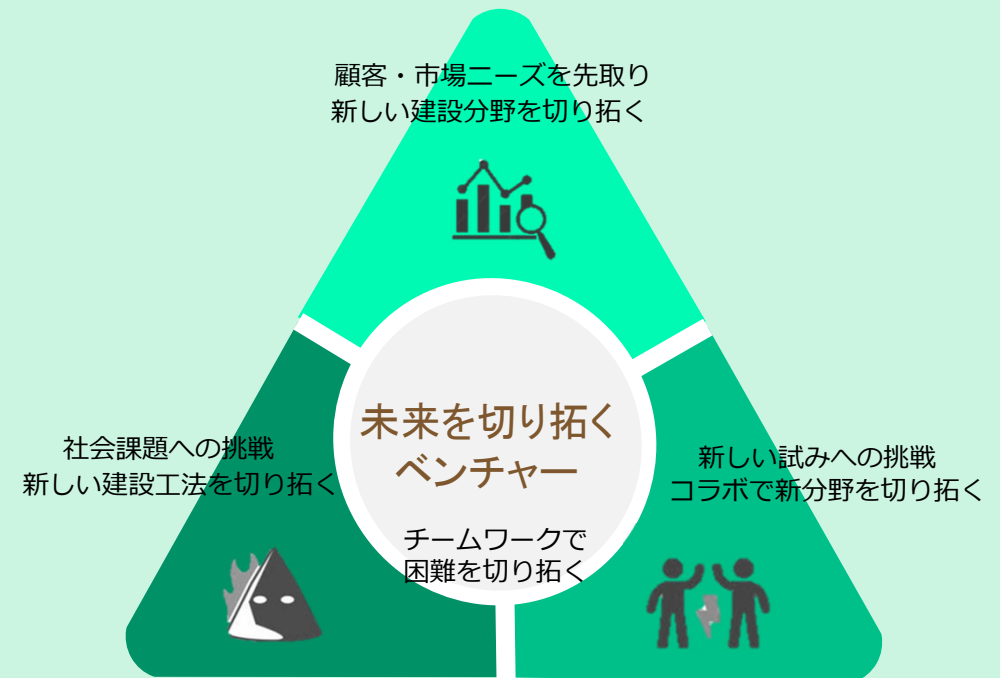
（新しい建設工法を切り拓く）

- ・防災、復興への貢献（再エネ、水中ブルドーザー、リモデル）
- ・人手不足貢献のリンクBPO
- ・高度外国人材の育成 ・耐震技術 ・リモデル技術

3.新しい試みへの挑戦

（コラボで新分野を切り拓く）

- ・多種多様なグループシナジー
- ・先端企業とのコラボ
- ・水中ブルドーザー事業
- ・ソリューション営業 ・リンクBPO



業績予想サマリー

- 受注高は、案件の選別を進めるとともに、前期が過去最高水準であった反動も踏まえ、**減少**を見込む。
- 売上高は豊富な繰越工事の順調な進捗等により**増収**を見込む。営業利益・経常利益・当期純利益は売上増による利益増加等により**増益**を見込む。

(億円未満切捨)

	2026/3期	2027/3期	
	実績	年度計画	前期比増減率
受注高	1,324 億円	1,250 億円	△5.6%
売上高	910 億円	1,000 億円	+9.9%
営業利益	34 億円	50 億円	+45.8%
営業利益率	3.8%	5.0%	+1.2 ポイント
経常利益	35 億円	51 億円	+44.6%
当期純利益	28 億円	34 億円	+24.0%

セグメント別業績予想

(単位：百万円)
(百万円未満切捨)

	2026/3期 実績	2027/3期	
		年度計画	前期比増減率
受注高	132,404	125,000	△5.6%
建築	83,241	68,000	△18.3%
土木	49,053	57,000	+16.2%
不動産	109	—	—%
売上高	91,024	100,000	+9.9%
建築	48,857	60,000	+22.8%
土木	42,057	40,000	△4.9%
不動産	109	—	—%
売上総利益	10,251	11,960	+16.7%
	(11.3%)	(12.0%)	(0.7 _{ポイント})
建築	5,390	6,980	+29.5%
	(11.0%)	(11.6%)	(0.6 _{ポイント})
土木	4,844	4,980	+2.8%
	(11.5%)	(12.5%)	(0.9 _{ポイント})
不動産	17	—	—%
	(15.7%)	(—%)	(— _{ポイント})



青木あすなる建設

つながる力を、創り出すかに。
TakaMatsu Group

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。